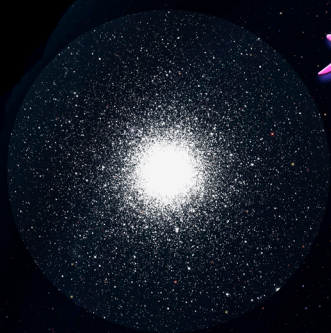


はる せいざかいせつ 春の星座解説



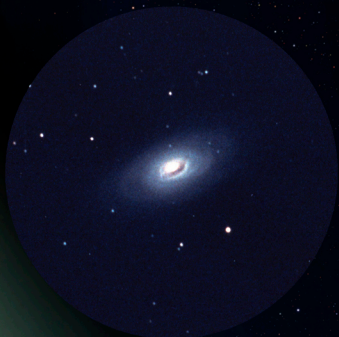
M3・球状星団 b



M51・子持ち銀河 c



M97・ふくろう星雲 d



M64・黒眼銀河 a



M104・ソムブレロ銀河 e



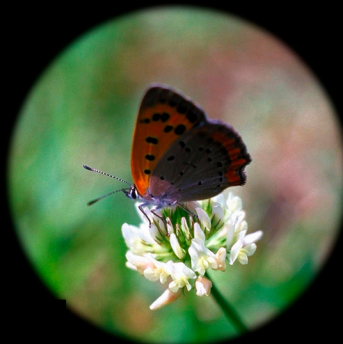
春。春がきました。

大地にいのちがあふれる、春。なんだかうきうきする季節ですね。

お花見ついでに、ぶらっと星空散歩にでかけませんか？

ななつの星でできたひしゃくの形の北斗七星を目印に、春の星座をさがしていきましょう。

あなたの知らない星座たちがきっとみつかるはずですよ。



★から座の神話★

からすはなぜ黒くなったのでしょうか？ そのわけは…



はる せいざかいせつ 春の星座解説

春。春がきました。

大地にいのちがあふれる、春。

なんだかうきうきする季節ですね。

お花見ついでに、ぶらっと星空散歩にでかけませんか？

ななつの星でできたひしゃくの形の北斗七星を目印に、

春の星座をさがしていきましょう。

あなたの知らない星座たちがきっとみつかるはずですよ。

(約 19 分)

満天の星空でまいごにならないように、方角を確かめることにしましょう。

目印は、ななつの星でできた大きなひしゃくの形。そう、北斗七星ですね。このひしゃくの水をくむ部分を伸ばしていくと、北極星にたどりつきます。この北極星の真下が北の方角、というわけです。

簡単でしょ？



春はこの北斗七星が大活躍！
北斗七星を目印に、どんどん
星座を探していきましょう。

春の大曲線 ～北斗七星からスピカへ～

北斗七星の柄のカーブにそって見ていくと、オレンジ色の明るい星がみつかります。この星はうしかい座の一等星、アルクトゥールス。日本では『麦星』と呼ばれて親しまれてきました。



さらに南へ伸ばしていくと、真珠色に輝くきれいな星がみつかります。おとめ座の一等星、スピカ。これらの星を結んだカーブが『春の大曲線』と呼ばれ、春の星座探しの目印になっています。



からす座の神話

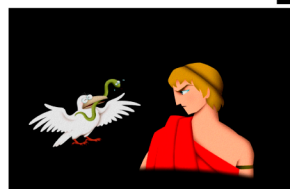
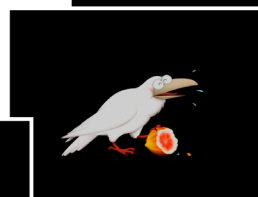
～からすはなぜ黒くなったのでしょうか？ そのわけは…～

春の大曲線をさらにたどっていく先にある小さな四角形が、からす座。

昔々、からすは銀色のつばさをもつ美しい鳥でした。

ある日、太陽の神アポロンは、からすにコップを渡し、泉の水をくんでくれるよういつけました。

さっそくコップをくわえて出かけたからすですが、泉のほとりで実をたくさんつけたイチジクの木を発見。



大好きなイチジクの実を夢中になって食べているうちに、アポロンのいつけをすっかり忘れてしまいました。

アポロンにしかられると思ったからすが考えた言いわけとは？

春の星空は宇宙の天窓

しし座、かんむり座、かみのけ座など、春の星空にはまだまだたくさん個性的な星座があります。また、春は銀河系の星々に邪魔されることなく、遠く天体をのぞき見ることができるので、『宇宙の天窓』とも呼ばれています。



みなさんも双眼鏡や望遠鏡を使って、たくさんの銀河をのぞいてみて下さい。

語り：山本百合子 神話イラスト：三善和彦 星座イラスト：塚田洋子
天体写真：ESA, 東京大学天文学教育研究センター木曾観測所 CG：NOBO